

研究課題名

各種皮膚疾患におけるビタミンD欠乏状態の検討

研究の意義

ビタミンD3は太陽紫外線（UVB）により合成が促され、肝臓や腎臓で代謝を受け骨や腎臓、腸管を含む全身組織へ運ばれます。ビタミンD3は近年ホルモンとしての役割も注目されており、その低下とがん、感染症、神経変性疾患、アレルギー疾患発症との関連が多く論文で報告されています。一方で、日常生活における過度の遮光がビタミンD低下を引き起こし、各種疾患を悪化させる可能性も懸念されています。本研究では血中25(OH)D3を測定することにより、ビタミンDが各種皮膚疾患の発症、合併症、重症度や治療効果における新規のバイオマーカーになる可能性について探索します。

研究の目的

特定の皮膚疾患患者さんの血液を採取し、血中25(OH)D3を測定します。活性型ビタミンD3の中間代謝物である血中25(OH)D3を測定し、ビタミンDと各種皮膚疾患と関連を検討します。

研究の方法

各種皮膚疾患患者さんを対象とし、試験管1本分程度の血液を採取し（1-3回程度）、血中25(OH)D3を測定します。

研究の対象

皮膚アレルギー・炎症性疾患（乾癬、アトピー性皮膚炎）、皮膚悪性腫瘍、光線過敏症など各種皮膚疾患の患者さん

研究期間

2018年10月1日～2024年9月30日

既存情報の利用目的等

ご自身の情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（代諾者からの申し出も受付いたします）。同意いただけない事により不利益を被ることは一切ありません。なお、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。対象者の方（代諾者）からの希望があれば、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究の計画及び方法に関する資料を閲覧することが可能です。

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き

本研究で使用する患者さんの診療情報と検体の情報は、新たに研究登録番号で管理し、カルテ番号等と研究登録番号を対比させたりリストは、パスワードを付けた電子ファイルとして、特定の研究者しかログインできないようにした皮膚科学教室のコンピュータに保管いたします。患者さんから、ご自分の個人情報の開示を求められた場合には、患者さんの同意する方法により情報を開示いたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口

対応者：宗元 紗和

連絡先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号
大阪医科薬科大学 皮膚科学教室

利益相反について

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保、または確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

本研究に必要な資金は皮膚科学教室の講座研究費から拠出され、特定の企業などとの利益相反はありません。

研究者名

研究責任者： 皮膚科学 助教(准) 宗元 紗和

問い合わせ、参加拒否の申し出先

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 皮膚科学教室

TEL 072-683-1221(代表) 内線 56490 宗元 紗和